

### 吉田克朗展

ものに、風景に、世界に触れる

とき・7/13(土)～9/23(月・祝)

※ 会期中、一部作品の展示替えがあります。前期：8/18(日)まで／後期：8/20(火)から

ところ・2階展示室

内容・吉田克朗(1943-1999)は、1960年代末に登場した「もの派」の中心的な作家として知られています。その一方、最初期から写真を素材にした版画を制作し、70年代半ばから風景の断片を描くドローイング、物体の転写などを通して絵画を模索します。80年代には風景や身体を抽象化した絵画の連作(かげろう)を手がけ、その後、黒鉛を手でこすりつけて描く〈触〉のシリーズを精力的に制作していましたが、惜しくも55歳で逝去しました。この展覧会は、埼玉県深谷市出身の吉田克朗を初めて回顧する機会になります。遺された作品や資料を辿り、その全貌に迫ります。

観覧料・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)

※( )内は20名以上の団体料金  
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料  
※企画展観覧券(ぐるっとパスを除く)をお持ちの方は、併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○レクチャー・プログラム

①「吉田克朗を語る」

講師・千葉成夫(美術評論家)

とき・7/21(日) 15:00～16:30(開場は14:30)

ところ・2階講堂／定員・80名(当日先着順)／費用・無料

②「吉田克朗の絵画について」

講師・沢山遠(武蔵野美術大学准教授、美術評論家)

とき・8/31(土) 15:00～16:30(開場は14:30)

ところ・2階講堂／定員・80名(当日先着順)／費用・無料

○ミュージアム・シアター

ダンスパフォーマンス「Errance-さすらい」

振付・ディモ・キリーロフ・ミレフ

出演・三崎彩(コンテンポラリーダンサー)

とき・8/3(土)同日2回公演 12:00～12:30(開場は11:30)、15:00～15:30(開場は14:30)

※各回終演後、アフタートークあり[15分程度]

ところ・2階講堂／定員・50名(当日先着順)／費用・無料

内容・ネザerland・ダンス・シアター(NDT2)での活動後、現在オランダを拠点に活躍する三崎彩が、ヨーロッパ各国で注目されている振付家ディモ・キリーロフ・ミレフによる「Errance」を、吉田克朗作品へのオマージュを込めて上演します。

○担当学芸員によるギャラリートーク

とき・7/14(日)、8/25(日) 各15:00から30分程度

ところ・2階展示室

費用・企画展観覧料が必要です。



吉田克朗《かげろう "3025"》1983年、The Estate of Katsuro Yoshida蔵 © The Estate of Katsuro Yoshida / Courtesy of Yumiko Chiba Associates

### ◆次回企画展「没後30年 木下佳通代」

#### 観覧料割引のご案内

埼玉県立近代美術館では、戦後美術が大きく転換した時代に活動した美術家、吉田克朗と木下佳通代の回顧展を連続して開催します。「吉田克朗展」の観覧券を購入すると、「没後30年 木下佳通代」(会期：10月12日～2025年1月13日)が2割引で観覧できます。「吉田克朗展」の観覧券購入の際にお渡しする割引券を、「没後30年 木下佳通代」の観覧券購入時にご提示ください。割引券は1枚につき、1名様のみ、1回限り有効で、その他の割引との併用はできません。

## MOMAS コレクション (収蔵品展)

とき・6/8(土)～8/25(日)

※ 会期中、一部作品の展示替えがあります。前期：7/21(日)まで／後期：7/23(火)から

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金  
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料  
※6/8(土)～6/20(木)は、埼玉県美術展覧会(県展)開催中のため半額

◇セレクション

ピカソ ほか

◇シュルレアリスム宣言100周年

夢や無意識といったキーワードをもとに、シュルレアリスムの世界へ誘います。

《関連イベント》

○コレクション・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。  
費用・MOMASコレクション観覧券が必要です。  
とき・6/23(日) 15:00～15:30  
担当学芸員・吉岡知子  
作品・キスリング《リタ・ヴァン・リアの肖像》1927年  
とき・8/17(土) 15:00～15:30  
担当学芸員・佐伯綾希  
作品・ポール・デルヴォー《森》1948年



古賀春江《コンポジション》1930年頃

とき・8/31(土)～11/24(日)

※ 会期中、一部作品の展示替えがあります。前期：10/20(日)まで／後期：10/22(火)から

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金  
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

◇セレクション

モネ ほか

◇旅路の画家

旅をテーマに、スケッチや版画、日本画などをご紹介します。

◇さいぎんのたまもの 近年新たに美術館のコレクションに仲間入りした作品をご紹介します。

《関連イベント》

○コレクション・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。  
費用・MOMASコレクション観覧券が必要です。  
とき・9/23(月・祝) 15:00～15:30  
担当学芸員・菊地真央  
作品・堂本印象《鳥言長者草》1922年



文谷有佳里 《なにもない風景を眺める 2010.10.21》2010年

## 夏休み MOMAS ステーション

とき・7/13(土)～8/25(日)

ところ・1階エントランスロビー

内容・夏休み限定の子供向け受付「MOMASステーション」を設置します。初めて美術館に来る子供たちや、美術館に関する宿題がある子供たちに、美術館を楽しむためのワークシートや参考になる資料を提供したり、研修を受けたボランティアスタッフが相談に応じたりします。お気軽にご利用ください。お待ちしております。

○鑑賞ツアー

とき・7/27(土) ①10:30、②11:00、③11:30 各30分程度  
内容・対話型の鑑賞を行いながら館内をご案内します。

## ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回はエコでサステナブルなビニール傘エパーイオンをご紹介します。伸縮性や耐久性に優れたプラスチック製の傘骨なので錆びにくく、強い風もなんのその。しかも傘生地が張替えができるので破れてしまっても大丈夫。季節や気分によって替えることもできます。また特徴のあるハンドルは、持ったり引っ掛けたりと様々なシーンに対応できる機能的なデザインです。今までにないビニール傘をぜひ手に取ってご覧ください。



エパーイオン 親骨サイズ:60cm  
価格2090円(税込)～2750円(税込)

MOMASコレクション 2024.8.31-11.24

## 旅路の画家

埼玉ゆかりの画家、森田恒友(1881-1933)は、生涯を通し国内外各地を旅した画家です。20代ははじめより毎年国内を旅行、33歳でフランス、イギリスに滞在します。翌年イタリアやスペインを巡り、帰国後も国内各所をたびたび訪れました。37歳の頃にはこう綴っています。「私は旅行に出掛け出すと、数々出たくなる。(中略)帰っては来るものの、又直ぐ出掛けたくなくなる。旅行しなければどうしても絵が描けない様な気持ちになって来る。」「(一人の心)『文章世界』1918年10月号より)

そんな旅好きの恒友が実際に使用していたトランク(①)は、幅80cmほどの大きな見た目に反し軽量で、恒友がトランクを手に各地を巡った様子を想像させます。

画家にとって、日常生活と離れた場所へ旅することは、創作意欲をかきたてられる重要な体験のひとつでしょう。MOMASコレクション(会期：8月31日～11月24日)では、収蔵品の中から、旅をテーマに、画家が旅先で描いたスケッチや、旅先の経験をもとにした作品などをご紹介します。

恒友がよく訪れた土地のひとつに福島県の会津があげられます。会津には、1916年、35歳の時から翌年にかけて4度滞在しました。ここで恒友は、『会津風景』(1916年)や『城址』(1916年)など、セザンヌの風景表現に影響を受けた油彩画を描いています。その一方で、『日本版画風景 第二集 会津之部』(1917年)②では、のびやかな描線で、素朴なあたたかみのある表現を用いて自然や人々の姿を表しています。同じ土地ながら、まったく異なる表現で描かれたこれらの作品からは、自然の美しさに向ける恒友の鋭敏な感性と、日本の風景に適した表現を試行錯誤する探求心が感じられます。

近代以降の画家にとって、馴染みのある日本各所や、あらゆるものが珍しく感じられるヨーロッパに加え、東アジアもまた絶好の旅先でした。特に明治末から昭和初期にかけて、多くの画家が中国を旅しています。堂本印象(1891-1975)も中国を訪れたひとりです。印象は京都生まれ、1921年、30歳の時から3年間、山東や瀋州、蘇州など中国各地を毎年訪れました。当館ではこの時期の制作とされる日本画2点を収蔵しています。そのうちのひとつ、『鳥言長者草』(1922年)③では、鳥の鳴き声に耳を傾ける女性の姿が抒情的に描かれています。女性は、清代後期の女性の間で流行した大拉翅(だいらし)という髪飾りを頭に載せています。当時印象は、ほかにも『仙人図 黄初平』(1922年)や『洛陽女子』(1923年)ともに京都府立堂本印象美術館所蔵)など、中国の歴史上の人物や、伝統的衣装を身にまとった人物を描いています。いずれの作品からも、印象が直接目にした光景だけでなく、中国の歴史や文化に触発されていた様子がうかがえます。その後、印象は国内各地を、そして戦後にはヨーロッパを歴遊し、次のように述べています。

「芸術の旅は優れた旅、最も楽しい旅であると同時に、計り切れぬ思索と苦悩を背おわされて、美の聲音をすぐ背後に聴きつつ故郷へ帰る旅でもある。」「(『美の聲音 ヨーロッパ美術紀行』1955年より)

画家にとって、旅はただ新たな知見を得るものではなく、内省を促し、作家としての思索を深めるきっかけになるものでもあったと言えるでしょう。MOMASコレクションでは、その他さまざまな作家の作品をご紹介します。お楽しみいただければ幸いです。(K.M.)

③ 堂本印象《鳥言長者草》1922年(前期展示)



① 森田恒友旧蔵のトランク



② 森田恒友《日本版画風景 第二集 会津之部》より「若松城址」1917年(前期展示)

### 新任学芸員紹介

## どうぞよろしく!

このコーナーでは、新しく着任した学芸員を紹介します。この春から新たに2名の学芸員が当館に加わりました。今回は、篠原優(しのはらゆう)さんに、これまでの研究や活動についてインタビューしました。

一美術に関心を持ったきっかけを教えてください。強く関心を持ったのは、高校生の頃です。元々絵を描いたり、美術の教科書を眺めたりするのが好きで、高校では美術部に所属していました。作家に進む道も考えましたが、途中で行きづまってきたときに、逆に美術が嫌いになってしまう気がして。そんなときに、美術の先生に教えられて、学芸員という職業があることを知りました。そこから「美術史」にも興味を持ち始めて、学芸員の資格が取得できる大学に進みました。

一大学ではどのような研究をされていたのですか？大学から大学院にかけて研究したのは、17世紀オランダの絵画です。大学入学前にヴォルフガング・ケンプの著作『レンブラント(聖家族)』を読んだことがきっかけで興味を持ちました。そのなかでも特にヘリット・ダウ(1613-1675)を研究していました。ダウの作品は、空間構成やイコノロジーなど、様々な角度から捉えられる要素がたくさんあってすごく面白いんです。

一当館で印象に残っている展覧会はありますか？正規で採用される前の2年間、臨時的任用職員として勤務していましたが、そのときに携わった「桃源郷通行許可証」(2022年10月22日～2023年1月29日)は強く印象に残っています。出品作家にインタビューをしたり、一緒に展示の設営を行ったりして、大変な面もありましたが、現在活躍する作家さんと共同で展覧会を作り上げた経験は、本当に貴重なものだったと感じています。

一当館の収蔵品のなかでお気に入りの作品を教えてください。気になる作品はたくさんあるのですが、やっぱりジャコモ・マンゾーの《枢機卿》は魅力的だと思います。自然光が入るセンターホール空間と、《枢機卿》の持つ静謐でミニマルな雰囲気調和されていて、すごく好きですね。同じ空間に設置してある彫刻《ダミアン神父像》、《マغدダラのマリア》とのバランスも素敵だと思います。デザイン椅子のなかだと…意外と「アント」が好きかもしれません。蟻をモチーフにした椅子って、ありそうでないと思いますし、休らためて見るとフォルムがすごくきれいですよね。美は私、昆虫が好きです、休らた虫の観察会に参加したりしているんですが、もしかするとその影響もあるかもしれません(笑)

一今後、学芸員として取り組んでいきたいことはありますか？埼玉ゆかりの作家の調査研究には力を入れていきたいですね。もちろん、これまで研究してきたオランダ絵画や、仕事で調査した岡本太郎などの作家に関する知識を活かした展示もいずれやってみたいです。

篠原さんは今年度から教育・広報担当として活躍中です。今後とも、「どうぞよろしく!」。(聞き手:S.Ayu.)



※ 本紙記載の展覧会やイベントは、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。

	所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 MAIL・p240111@pref.saitama.lg.jp 開館時間・10:00～17:30 (展示室への入場は17:00まで) 休館日・月曜日(7/15、8/12、9/16、9/23は開館)/6/25～6/28 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。	交通・JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。 ※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります。お体の不自由な方のご案内には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。		
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--